

第74回日本東洋医学会学術総会

協賛募集要項

(作成2024年1月)

- 講演要旨集広告掲載
(WEB版・紙媒体版)

会 期：2024年5月31日（金）～6月2日（日）
会 場：大阪国際会議場
会 頭：三谷 和男（三谷ファミリークリニック）

御 挨拶

謹啓 時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また、平素より格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

第74回日本東洋医学会総会の会頭を務めさせていただきます三谷です。準備委員長の山崎武俊先生、プログラム委員長の千福貞博先生を中心とした準備委員会のメンバーとともに、参加される先生方の闊達なディスカッションと笑顔をイメージしながら、日々準備に取り組んでいます。第74回日本東洋医学会学術総会は、2024年（令和6年）5月31日（金）～6月2日（日）までの3日間、大阪国際会議場にて開催させていただくことになりました。後山尚久先生が会頭を務められた第69回から6年、再び関西での総会です。

昭和25年3月12日、第1回日本東洋医学会学術総会が慶應義塾大学医学部の図書館で開催されました。当時の会員数は98名でしたが、現在は7,700名を超える先生方に支えられる大きな組織になっています。特に、専門医制度が発足した1990年（平成2年）にはそれまでの3,000名規模だった学会が8,500名となり、翌年には諸先輩方の悲願であった日本医学会加盟も実現しました。漢方薬も1976年（昭和51年）に全面的に保険適応となり、多くの先生方、病人さんがその恩恵に浴すことができる環境も整っています。しかし、日本東洋医学会創立当時の先達の熱い想いに、私たちは応えることができているのでしょうか。

今回のメインテーマは『東洋医学を通じた和の構築』そしてサブテーマを『病人さんに還る』としました。「和」という言葉は日本に古くから根づき、日本人に深く愛される概念です。しかし、「和」は、それまでに分断や闘いがある（あった）という「和ならず」のベースがあるからこそ、生まれた言葉でもあります。過去から現代において、東洋医学にも様々な分断や闘いがありました。東洋医学の世界には流派といわれる様々な考え方が存在します。江戸時代、ある師のところで学んだ弟子は、師から教えられたことは門外不出が不文律でした。現代にもそれは散見されます。ディスカッションは必要不可欠ですが、ポイントが演者の勉強不足、未熟な技術という指摘に留まらず、根本的に他の流派の考え方を相容れないとするだけの反論も数多くありました。しかし、今こそお互いの違いを受け入れ、良いと認めるところを育み合い、「和」を以って東洋医学の灯を未来にも絶やさぬよう、確固たるものにしていかなければなりません。そして、「和」を以って『病人さんに還る』医療となる土台を作っていこうと思います。私の師は、来院される方を「患者さん」とは言わず、いつも「病人さん」と表現していました。日本語の妙ですが、「病人さん」には診断名がついた病気だけではなく、その人の人格・人生・生活の背景・こころのありよう全てを含みます。そして、「病人さんに向きあう」意識こそが、漢方診療を行う哲学であり土台なのです。

さて、漢方医学の学びは、どの時代も、まず師について学ぶ、代表的な古医書を紐解くことからスタートしますが、古典の記述のままでは使えないということで、江戸時代には和田東郭、吉益東洞、有持桂里、原南陽・・・そして尾台榕堂、浅田宗伯らは、多くの口訣を残しました。現代の私たちは、未来の東洋医学を志す方たちに向けて、診療に役立つヒントとなるような口訣を残すことができているのでしょうか。

現代は、サイエンスとしての普遍性と再現性を重視する東洋医学が目指されています。実際に、漢方方剤（生薬一味一味）やひとの病態が分子レベル・遺伝子解析で解明されていきます。東洋医学の「証」でさえ、普遍性・再現性の追求が基本です。その普遍性・再現性の恩恵が病人さんひとりひとりに還っているかということ、そこにはいくつかの隔たりがあると思います。先達の知恵、そして症例を積み重ねてきた現代の私たちの知恵が「具体的な病人さんに和していく道」を見つけることこそ、『東洋医学を通した和の構築』ではないでしょうか。『病人さんに還る』は、私たちの原点です。私たちは、常に病人さんを中心に据えた診療をしています。考え方、向き合い方は違えど多くの優れた「いま」の治療内容が『病人さんに還る』姿勢につながる未来への一歩となること、これを『和』の一文字に托しました。

現代はウクライナに象徴される世界的な政治体制の分断、三年以上にわたり世の中を大混乱に陥らせたコロナ禍における人と人とのコミュニケーションの分断、こういった目に見える、または見えてこない様々な分断と闘いが顕在化している時代です。『東洋医学を通した和』を示すことによって、それが少しでも時代の流れに投げられる良い一石となることを願ってやみません。

今回の学術総会は、栗山一道先生が会頭を務められ、素晴らしい会となった第73回福岡大会に学び、ハイブリッドでの開催といたします。多くの先生方のご参加を念頭に、関西支部一丸となって『病人さんに還る』学会の準備を進めています。どうぞよろしくお願いいたします。

なお、現在各方面のご協力を賜り、学会開催に向け鋭意努力しているところですが、何分にも昨今の厳しい情勢下にあります。自己資金のみでは不十分であるのが実状です。

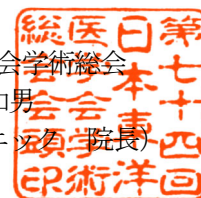
つきましては、本学術総会が実り多いものになりますよう、格別のご支援を賜りたくお願い申し上げます。諸事厳しい折りに誠に恐縮ではございますが、本学術総会の趣旨をご理解いただき協賛賜りますようお願い申し上げます。

末筆ではありますが、貴社の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

謹白

2024年1月吉日

第74回日本東洋医学会学術総会
会頭 三谷 和男
(三谷ファミリークリニック 院長)



開 催 概 要

1. 会議の名称 第74回日本東洋医学会学術総会
2. 主催機関 一般社団法人日本東洋医学会
3. 責任者 会頭 三谷 和男（三谷ファミリークリニック）
4. 会 期 2024年5月31日（金）～6月2日（日）
5. 会 場 大阪国際会議場
〒530-0005 大阪市北区中之島5-3-51
TEL：06-4803-5555 FAX：06-4803-5620 <http://www.gco.co.jp/>
6. 参加人数 3,350名（予定）
7. テー マ 東洋医学を通じた「和」の構築 ～病人さんに還る～
8. ホームページ <https://convention.jtbcom.co.jp/74jsom/>
9. 開催目的 当学会は、1950年（昭和25年）に設立され、東洋医学に関する事業を行いその進歩普及を図り、学術文化の発展並びに人類・社会の福祉に寄与する事を目的としております。
東洋医学は、漢方に限らず、各種薬剤や医療機器を使用し、最近では栄養管理等においても注目されている分野です。
本学術総会におきましても、テーマとなる「漢方を通じた和の構築 ～病人さんに還る～」を基盤として、医師、薬剤師、鍼灸師、漢方を学ぶ学生等、多くの参加者に満足していただけるプログラムを計画しております。
尚、東洋医学会関西支部例会は、例年参加者が500名を超えており、特に関西地方で本会を開催の際には、地域医療に貢献している多数の参加者が見込まれ、今後の東洋医学の発展と医療の向上に寄与する学術総会になるものと存じます。
10. 開催計画の概要（予定）
 - ・会頭講演
 - ・教育講演
 - ・車座講演
 - ・特別講演
 - ・シンポジウム
 - ・鍼灸特別セミナー
 - ・ビギナーズ漢方セミナー
 - ・アドバンストセミナー
 - ・本部委員会企画プログラム
 - ・腹診実習セミナー
 - ・市民公開講座
 - ・一般演題（口演発表のみ）
 - ・学生発表（口演発表のみ）
 - ・ミニシンポジウム
 - ・ランチョンセミナー
 - ・スポンサードセミナー
 - ・企業展示
 - ・書籍販売
11. 企業活動と医療機関等の関係の透明性ガイドラインについて
各種共催申込に関しまして、日本製薬工業協会の「企業活動と医療機関等の関係の透明性ガイドライン」に基づき「共催企業と医療機関及び医療関係者との関係の透明性に関する指針」に従い、学会等の会合開催にかかる費用を公開することについて了承いたします。

12. 運営組織（敬称略・順不同）

会頭	三谷 和男	三谷ファミリークリニック
名誉会頭	中田 敬吾	聖光園細野診療所
副会頭	峯 尚志	峯クリニック
	若山 育郎	関西医療大学
	西本 隆	社団岐黄会 西本クリニック
関西支部顧問	石井 正光	
	岩井 孝明	
	大澤 仲昭	
	柏原 紀美	
	木村 泰治郎	
	田中 祥夫	
	中島 泰三	
	米田 該典	
	渡邊 一幹	
	小林 裕美	
	高橋 邦明	
	後山 尚久	
	今西 二郎	
	野崎 豊	
準備委員会顧問	小野 孝彦	尼崎永仁会クリニック 腎臓内科
準備委員長	山崎 武俊	洛和会音羽リハビリテーション病院 内科
副準備委員長	田中 秀一	田中医院
準備委員長補佐	景山 崇子	高雄病院
事務局長	竹本 喜典	タケモトクリニック
構成・企画・広報委員会委員長	今中 政支	いまなか耳鼻咽喉科
構成・企画・広報委員会副委員長	坂崎 弘美	さかざきこどもクリニック
構成・企画・広報委員会委員	吉田 麻美	藍野病院 内科
	細野 靖之	細野漢方薬局
会場・進行委員会委員長	下村 裕章	しもむら内科クリニック
見学会	奥見 裕邦	医療法人医方会 奥見診療所
総務・財務委員会委員長	岩井 正憲	御幸の漢方
プログラム委員会委員長	千福 貞博	センブククリニック
プログラム委員会副委員長	福原 慎也	医療法人康和会 えのもとクリニック
プログラム委員会委員	浮田 徹也	浮田クリニック
	中西 美保	滋賀医科大学 麻酔科学講座
	田中 邦雄	明治国際医療大学附属病院 漢方内科
	松田 久司	京都薬科大学 名誉教授
	中村 真理	まり鍼灸院
	八幡 暁直	HABAクリニック
	王 宝禮	大阪歯科大学 歯科医学教育開発室
	重河 嘉靖	国立病院機構大阪南医療センター 外科
	西山 順滋	関西医科大学 心療内科学講座 心療内科・総合診療科
	水野 泰行	関西医科大学 心療内科学講座
	山根 朗	淀川キリスト教病院 緩和医療内科
	西口 陽子	COCO 鍼灸エステサロン
	鳥本 一匡	奈良県立医科大学 泌尿器科学教室
	岡安 唯	奈良県立医科大学 耳鼻咽喉・頭頸部外科
	辰田 仁美	和歌山労災病院

プログラム委員会委員	山本 昇伯	山本眼科医院 東洋医学研究所
	平野 裕之	神戸学院大学薬学部物性部門分析化学研究室(2)
	福永 智栄	姫路赤十字病院 緩和ケア内科
	新澤 敦	にいざわ内科・漢方クリニック
	山本 篤志	やまもと皮膚科・漢方クリニック
	任 智美	兵庫医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科
	岡田 直己	医療法人 KDEC かがやき糖尿病内分泌クリニック新神戸
	夏秋 優	兵庫医科大学 皮膚科学
	梶本めぐみ	関西医科大学滝井病院 婦人科漢方外来
	西田 慎二	にしだクリニック
	中田 英之	泉州統合クリニック
	和辻 直	明治国際医療大学 基礎鍼灸学講座
	山田 伸	日赤和歌山医療センター 漢方内科部
IT 関連委員会委員長	福岡 正平	ふくおかクリニック
IT 担当委員会副委員長	大前 隆仁	大石病院
IT 担当委員会委員	中井 章淳	なかい皮膚科
	磯野 員理	医療法人令寿会しまばら病院 循環器内科
	高橋 健太郎	医療法人社団昂会 日野記念病院/ 滋賀医大 産婦人科

13. 運営事務局

第74回日本東洋医学会学術総会 運営事務局

(株)JTB コミュニケーションデザイン 事業共創部 コンベンション第二事業局内

〒541-0056 大阪市中央区久太郎町2-1-25 JTB ビル 8F

TEL:06-4964-8869 FAX:06-4964-8804 E-mail:74jsom-sponsor@jtbcom.co.jp

※運営事務局はテレワークを実施しております。原則E-mailでお問い合わせいただきますよう
ご協力をお願いいたします。

講演要旨集（WEB版・紙媒体版）広告掲載募集要項

当初はWEB抄録作成のみとしておりましたが、参加者の利便性を鑑み、講演要旨集（紙媒体版）も作成することとなりました。つきましては、講演要旨集（WEB版）・講演要旨集（紙媒体版）を新たに募集いたします。

- (1) 媒体名 『第74回日本東洋医学会学術総会 講演要旨集（WEB版・紙媒体版）』
- (2) 規格と部数 (WEB版) 総会ホームページにてPDFで掲載
(紙媒体版) A4判/2,000部（予定）
※広告はWEB版と、紙媒体版の両方に掲載します。
- (3) 掲載期間 (WEB版) WEB抄録掲載時～会期終了まで（予定）
- (4) 販売 (紙媒体版) 学術総会で販売：2,000円（税込）
- (5) 制作費と広告料 5,306,000円/WEB版制作費：1,500,000円（税込）・紙媒体版印刷費：3,806,000円（税込）
広告料総額：2,150,000円（税抜）
- (6) 依頼社数 約150社
- (7) 広告料（課税対象・外税）

掲載頁	広告料（税抜）	サイズ	募集数
表1（裏表紙）1頁	500,000円	縦27cm×横18cm程度 カラーページ	1社
表2（表紙裏）1頁	400,000円	縦27cm×横18cm程度 カラーページ	1社
表3（裏表紙裏）1頁	300,000円	縦27cm×横18cm程度 カラーページ	1社
後付1頁	90,000円	縦27cm×横18cm程度・白黒ページ	5社
後付1/2頁	50,000円	縦13cm×横18cm程度・白黒ページ	10社

受付終了

■ 広告掲載頁決定

- (1) 各広告掲載のページ割等は、申込締切後に主催者で決定いたします。
- (2) 申込社が主催者の許可無くスペースの全部または一部を第三者に譲渡・貸与もしくは申込社同士において交換することはできません。

■ お申込み方法・申込み期限

オンラインによるお申込となります。

本学会ウェブサイト (<https://convention.jtbcom.co.jp/74jsom/>) の、[協賛申込] ページより、お申込みください。

申込締切：2024年3月1日（金）必着 3月15日（金）まで延長受付中

広告版下締切：2024年3月8日（金）必着

※印刷原稿は完全版下、またはイラストレーターなどのデータ（解像度 350dpi以上）にて運営事務局までメール添付または宅配便にてご送付ください。（当方では版下の作成はいたしません）また、必ず出力見本もつけてください。

■ 広告掲載料のお支払い

広告掲載料は、下記指定の銀行口座にお振込みください。

広告掲載枠確定後に請求書を発行させていただきます。請求書到着後に入金手続きをお願いいたします。

銀行名：三井住友銀行 藤井寺支店（店番 162）

口座番号：普通預金口座 4165951

口座名義：第74回日本東洋医学会学術総会

(ダイ74カニホトウヨウカクカクカジツツカイ)

■ お申込み・問合せ先

第74回日本東洋医学会学術総会 運営事務局

(株)JTB コミュニケーションデザイン 事業共創部 コンベンション第二事業局内

〒541-0056 大阪市中央区久太郎町2-1-25 JTBビル 8F

TEL:06-4964-8869 FAX:06-4964-8804 E-mail:74jsom-sponsor@jtbcom.co.jp

※運営事務局はテレワークを実施しております。原則E-mailでお問い合わせいただきますようご協力をお願いいたします。

第74回日本東洋医学会学術総会 協賛申込（オンライン）について

第74回日本東洋医学会学術総会の各種協賛申込みは、オンライン登録を採用させていただいております。

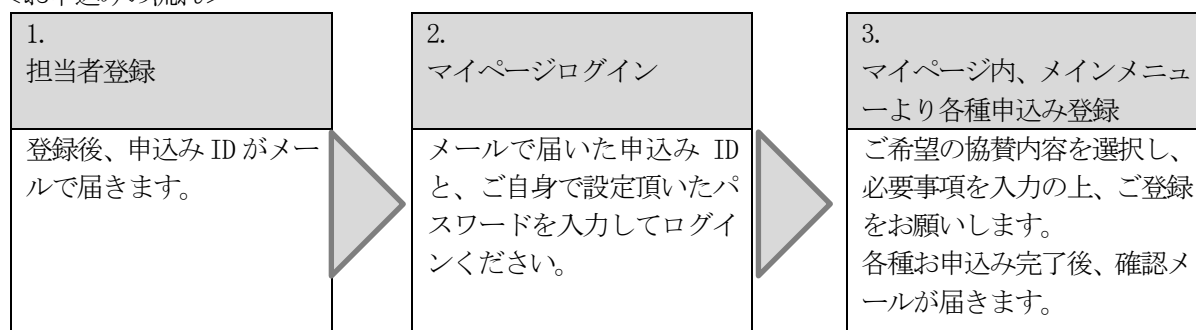
FAXの未着、お申込情報の誤入力等を防ぐため、お手数ではございますが、オンライン登録にご協力頂きたくお願い申し上げます。

インターネット環境のない場合は、運営事務局までお問合せください。

総会ホームページ内「協賛申込」より、ご登録をお願いいたします。

ホームページURL : <https://convention.jtbcom.co.jp/74jsom/>

<お申込みの流れ>



※推奨ブラウザ

Microsoft Edge 最新版、Firefox 23.0以降、Chrome 28.0以降

※個人情報の利用目的

お名前、メールアドレス等の個人情報は、協賛申込に関して、請求書、領収書、本件に関する連絡以外の目的には利用しません。又、個人情報は第三者へは開示いたしません。

■ お申込み・問合せ先

第74回日本東洋医学会学術総会 運営事務局

(株)JTB コミュニケーションデザイン 事業共創部 コンベンション第二事業局内

〒541-0056 大阪府中央区久太郎町2-1-25 JTBビル 8F

TEL:06-4964-8869 FAX:06-4964-8804 E-mail:74jsom-sponsor@jtbcom.co.jp

※運営事務局はテレワークを実施しております。原則E-mailでお問い合わせいただきますようご協力をお願いいたします。